倉敷市議会議員

母親の視点をもっと市政に！

小郷ひな子

ほっと通信



教育
不登校支援

福祉
認知症マイスター

防災
防災士

住 所　〒710-0012 倉敷市鳥羽1030番地
電 話　090-6749-2864

2026年11月号

不登校支援について、8月議会で一般質問しました



児童・生徒数が減少しているにもかかわらず、不登校児童・生徒数は増加しています。
特に小学校の低学年で増加しており、早期からよりきめ細やかな支援を行っていく必要があります。



市が行ってきた不登校支援について、どのように検証し、現在の取組に生かしていますか？

答弁 将来の社会的自立につながる成長も検証しています。実際に、不登校生徒が高校進学後に継続して登校し、ものづくりや介護技術の分野で活躍する事例もあります。一人ひとりの得意分野を生かし、自己肯定感や学ぶ意欲を育む、切れ目のない支援を進めていきます。



各学校では、不登校の児童・生徒についてどのように情報共有されていますか？

答弁 各学校で作成した不登校対策マニュアルに基づき、担任をはじめ、様々な役割の教職員が情報共有し、定期的に家庭訪問を行うなど、児童生徒や保護者とつながりをもちながら、状況を把握しています。



学校の教室に入ることが難しい児童・生徒に対して、どのような学習支援がされていますか？

答弁 児童・生徒の状態に応じて、家庭訪問を通じて本人や保護者の意向を確認しながら、学習への取組についての相談や教職員等による個に応じた学習支援等を行うことで、基礎学力の定着を目指しています。



医療や福祉など、複数の支援が必要な場合、各学校でどう必要な支援に繋げていますか？

答弁 児童生徒の状況を共通理解するためのアセスメントシートを作成することで、学校全体でも情報を共有しており、児童生徒の状況によっては、自立応援室や保健室等を一時的に利用するよう促すなどの取組を行い、個に応じた丁寧な支援を行っております。

登校日数だけでなく、生活習慣や学ぶ意欲、自己肯定感など、小さな成長を大切にする必要があります。今後は、**①早期発見・早期支援、②本人や保護者に寄り添った支援、③孤立の防止、④関係機関の連携、⑤切れ目のない支援、⑥支援の成果の継続的な検証** の6点を重視していきます。「誰一人取り残さない」という思いのもと、教育・福祉・医療・地域が連携し、子ども一人ひとりの今と将来を支える倉敷市を目指します。

不登校支援、居場所についてのご意見・ご要望をお聞かせください！
https://www.ogo-hinako.jp/contact

暮らし情報

全市立幼稚園で預かり保育を実施！

2027年度から新たに5園で預かり保育を開始し、公立幼稚園の全園で実施します。また、休園中の2園を、それぞれ統合します。

詳細はこちらから！

自分らしい進路を応援！理工系の魅力を紹介

高校生や地元企業で働く先輩の声を通じて理工系分野の魅力を紹介することで、性別にとらわれない進路選択を応援します。

詳細はこちらから！

ゲームの世界に「倉敷美観地区」が登場！

オンラインゲーム「フォートナイト」に倉敷美観地区を再現したマップが登場！町並みを楽しみながら、かくれんぼで遊べます。

詳細はこちらから！

小郷ひな子の市政マンガ

部活動の地域展開、どう進んでる？

倉敷市が進めている部活動の地域展開について、ご意見を聞かせてください！



1



2

部活動の地域展開とは？



3

期待できること



4

気になること



5

部活動の地域展開についてみなさんのご意見・ご要望をお聞かせください！



いただいたご意見は、
今後の議会での質問や
市への提案につなげます!

- こんな活動があったらいいな！
- 地域展開、ここが心配だな‥
- 地域展開、こうしてほしい！

など、率直なご意見・ご要望をお待ちしています。

ご意見はこちらから！

←ホームページ

SNSのメッセージからもお問い合わせいただけます！